

# 株式会社 T&Dホールディングス

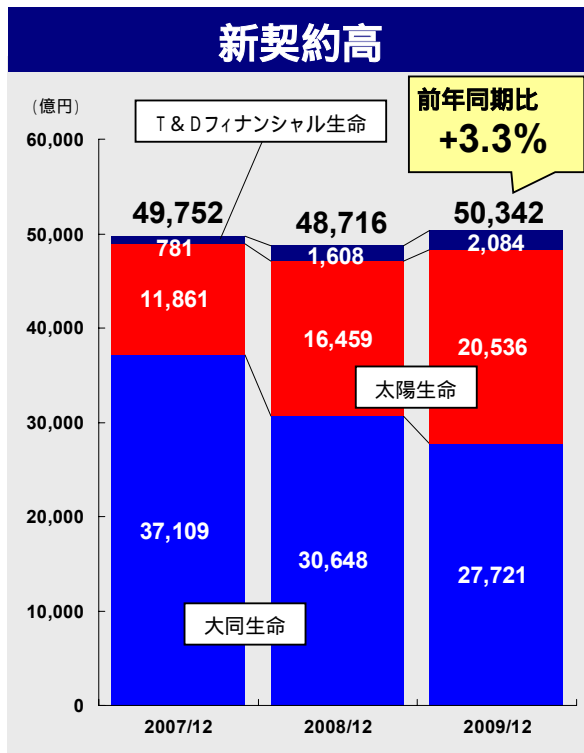
2010年3月期第3四半期  
決算のご説明

・表紙

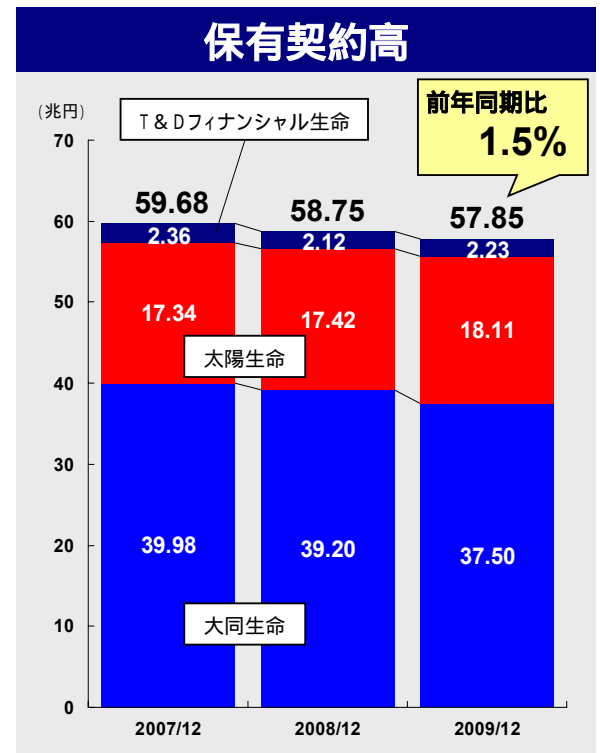
- 生保3社合計の新契約高は前年同期を上回り、解約失効高は減少。保有契約高は年度始から減少
- 有価証券売却損益の増加や有価証券評価損の減少等により、経常利益・四半期純利益は前年同期から増加
- 2010年3月期の通期業績予想は変更なし

- ・T&Dホールディングスの当第3四半期の業績のポイントを3点挙げます。
- ・1点目に、生保3社合計の契約業績について、新契約高は前年同期を上回り、解約失効高は減少しました。保有契約高は年度始から減少となりました。
- ・2点目として、有価証券売却損益の増加や有価証券評価損の減少等により、経常利益・四半期純利益は前年同期から増加しました。
- ・3点目として、2010年3月期の通期業績予想の変更はいたしません。

# 契約業績



\*個人保険・個人年金保険合計 \*\*新契約高には、転換による純増加を含みます。



株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

- ・当第3四半期累計のグループ生保3社の新契約高は5兆342億円となり、前年同期から3.3%増加しました。
- ・一方で、保有契約高は57兆8,595億円となり、前年同期から1.5%の減少、年度始の58兆971億円からも減少(0.4%)しました。
- ・次ページ以降、各社ごとの契約業績の詳細をご説明します。

# 契約業績: 大同生命

(億円)

	2009年 12月期	2008年 12月期	増減率	
<b>新契約高*</b>				
個人保険・個人年金合計	27,721	30,648	▲9.5%	景気低迷の影響による
うち個人定期保険	26,550	29,628	▲10.4%	
<b>減少契約高**</b>				
個人保険・個人年金合計	38,849	37,612	3.3%	解約返戻金の多い長期の定期保険 を中心に解約が増加したことによる
うち個人定期保険	36,637	35,070	4.5%	
うち解約失効高	30,630	29,820	2.7%	
解約失効率(年換算)***	10.57%	9.97%	0.60P	
うち個人定期保険	29,350	28,333	3.6%	
<b>保有契約高</b>				年度始より 1兆1,127億円
個人保険・個人年金合計	375,091	392,007	▲4.3%	年度始より 1兆0,087億円
うち個人定期保険	340,968	356,312	▲4.3%	
<b>新契約年換算保険料*</b>	692	485	42.4%	4月発売の一時払個人年金(据置期間1年)による増加
<b>保有契約年換算保険料</b>	6,681	6,761	▲1.2%	

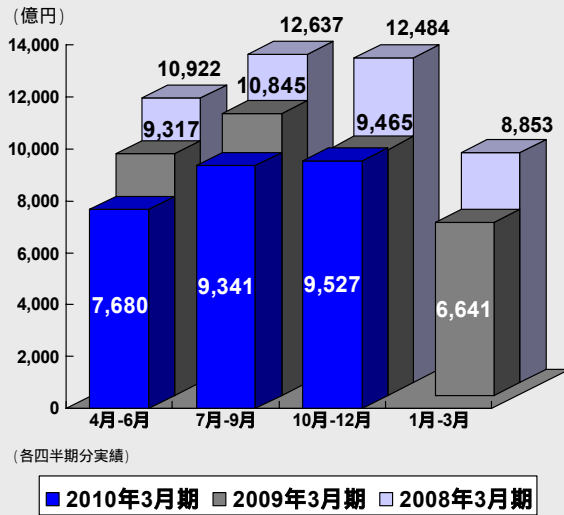
\* 新契約には、転換による純増加を含みます。  
 \*\* 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分  
 \*\*\* 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4/3

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

- ・大同生命の新契約高は景気低迷の影響等により前年同期から9.5%減少し、2兆7,721億円となりました。
- ・解約失効高は前年同期に比べ2.7%増加し、3兆630億円となりました。また、解約失効率は年換算で10.57%となり、0.6ポイント上昇しました。
- ・以上の結果、保有契約高は3兆5,091億円となり、年度始から2.9%減少しました。

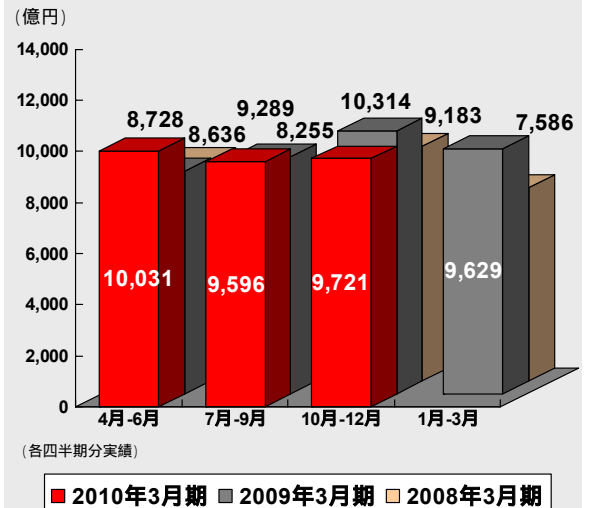
# 四半期別業績推移：大同生命 (個人定期保険)

### 新契約高\*の推移



\* 新契約高には、転換による純増加を含みます。

### 解約失効高の推移



・主力の個人定期保険について、四半期別の新契約高および解約失効高の推移をグラフに表しています。当四半期に入り、前年同期に比べ新契約高は増加、解約失効高は減少に転じるなど、契約業績にやや回復の兆しが見られます。

# 契約業績: 太陽生命

(億円)

	2009年 12月期	2008年 12月期	増減率
<b>新契約高 *</b>			
個人保険・個人年金合計	20,536	16,459	24.8%
うち保障性商品	19,532	15,213	28.4%
うち転換による純増加	8,939	5,018	78.1%
<b>減少契約高 **</b>			
個人保険・個人年金合計	12,934	14,066	▲ 8.0%
うち解約失効高	8,492	9,498	▲ 10.6%
解約失効率(年換算) ***	6.52%	7.37%	▲ 0.85P
<b>保有契約高</b>			
個人保険・個人年金合計	181,154	174,215	4.0%
うち保障性商品	137,269	127,955	7.3%
<b>新契約年換算保険料 *</b>	308	267	15.1%
うち第三分野	73	76	▲ 4.2%
<b>保有契約年換算保険料</b>	6,045	6,200	▲ 2.5%
うち第三分野	1,105	1,109	▲ 0.3%

・「組曲Best」の販売好調による

引き続き継続率を高める施策に注力したことによる

・年度始より+7,601億円  
・保障性商品の占率は75.8%(年度始より2.1ポイント増)

引受基準緩和型商品の新契約が前年に比べ減少したことによる

過去に販売した貯蓄性保険(旧けんこう)が満期を迎えたことによる

・「組曲Best」の販売好調による

引き続き継続率を高める施策に注力したことによる

・年度始より+7,601億円  
・保障性商品の占率は75.8%(年度始より2.1ポイント増)

引受基準緩和型商品の新契約が前年に比べ減少したことによる

過去に販売した貯蓄性保険(旧けんこう)が満期を迎えたことによる

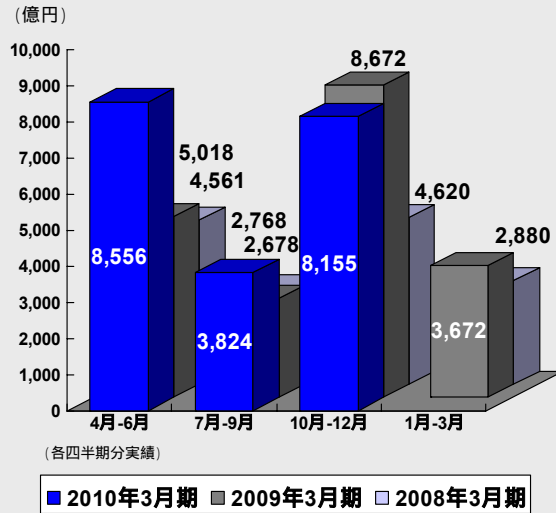
\* 新契約には、転換による純増加を含みます。  
 \*\* 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分  
 \*\*\* 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4/3

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

- ・太陽生命の新契約高は、「保険組曲Best」の販売が引き続き好調に推移したことにより、前年同期から24.8%増加し、2兆536億円となりました。
- ・また解約失効高は、前年同期から10.6%減少しました。解約失効率についても0.85ポイント改善し、6.52%となりました。
- ・その結果、保有契約高は年度始より7,601億円増加し、18兆1,154億円となりました。

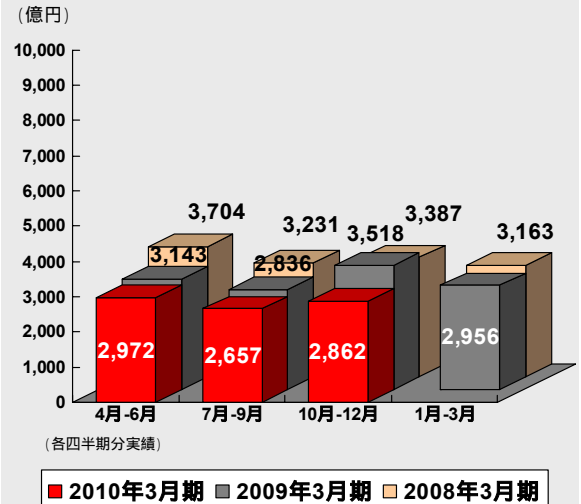
# 四半期別業績推移：太陽生命 (個人保険・個人年金保険)

### 新契約高\* の推移



\* 新契約高には、転換による純増加を含みません。

### 解約失効高の推移



・太陽生命の四半期別の新契約高および解約失効高の推移については、グラフのとおりです。

# 契約業績:T&Dフィナンシャル生命

(億円)

	2009年 12月期	2008年 12月期	増減率
<b>新契約高</b>			
個人保険・個人年金合計	2,084	1,608	29.6%
うち変額個人年金	2,076	1,608	29.1%
<b>減少契約高</b>			
個人保険・個人年金合計	934	2,931	▲ 68.1%
うち解約失効高	837	1,063	▲ 21.3%
うち変額個人年金	95	140	▲ 32.3%
解約失効率(年換算)*	1.88%	3.14%	▲ 1.26P
<b>保有契約高</b>			
個人保険・個人年金合計	22,350	21,287	5.0%
うち変額個人年金	9,255	6,378	45.1%
<b>新契約年換算保険料</b>	391	304	28.7%
<b>保有契約年換算保険料</b>	1,695	1,251	35.5%

「ファイブテン」(販売名称)の販売が引き続き堅調に推移し、前年同期より468億円増加

変額個人年金の保有件数、保有契約高は年度始から31,720件、2,506億円の純増加

\* 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分  
 \*\* 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4/3

	2009年12月期	2008年12月期
<b>期末販売代理店</b>	60銀行、5証券会社、2その他	57銀行、3証券会社、2その他

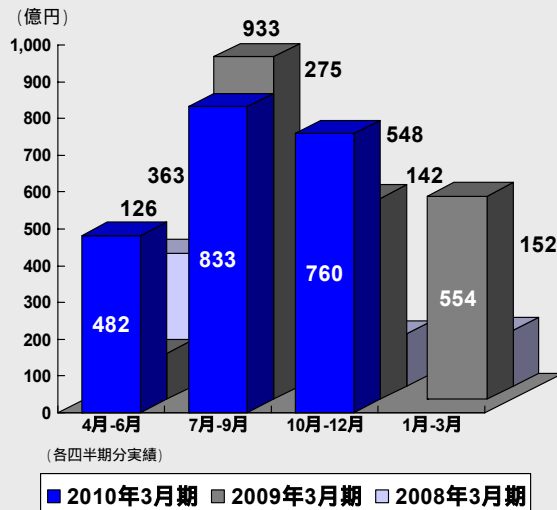
\*銀行には信託銀行・信用金庫を含む

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

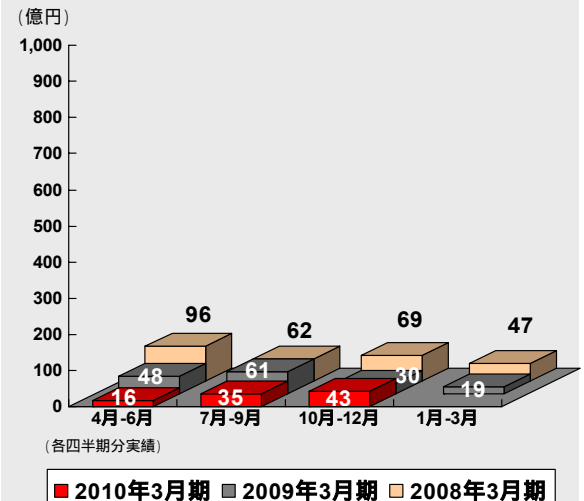
- ・T&Dフィナンシャル生命の変額年金の新契約高は、「ファイブテン」の販売が引き続き堅調に推移したことにより、前年同期から468億円増加し、2,076億円となりました。
- ・変額年金の保有契約高は、新契約高の増加および相場回復による積立金の増加により、年度始から2,506億円増加し、9,255億円となりました。
- ・なお、提携金融機関代理店数は本日(2010年2月12日)現在、販売開始準備中2店を含め69代理店となりました。

# 四半期別業績推移：T&Dフィナンシャル生命 (変額個人年金)

## 新契約高の推移



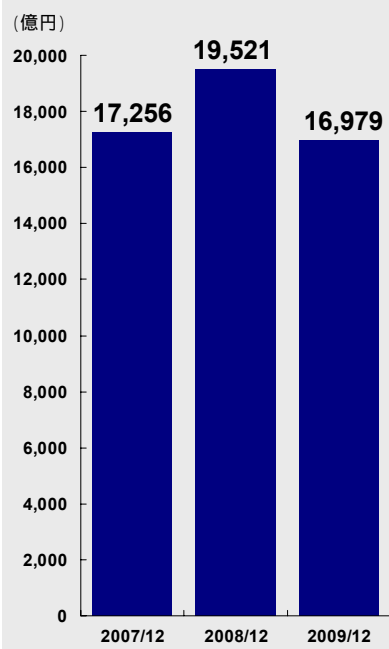
## 解約失効高の推移



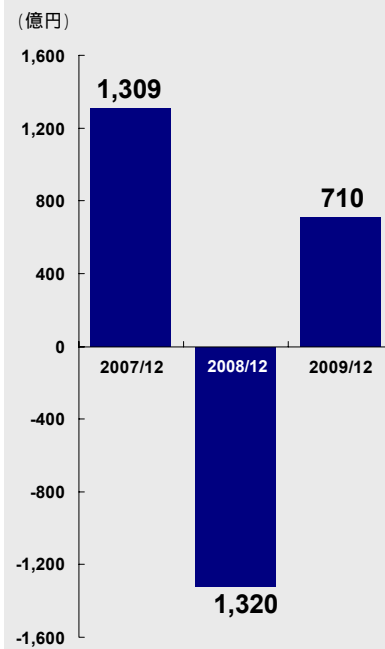
・主力の変額年金について、四半期別の新契約高および解約失効高の推移をグラフに表しています。

# 連結主要収支

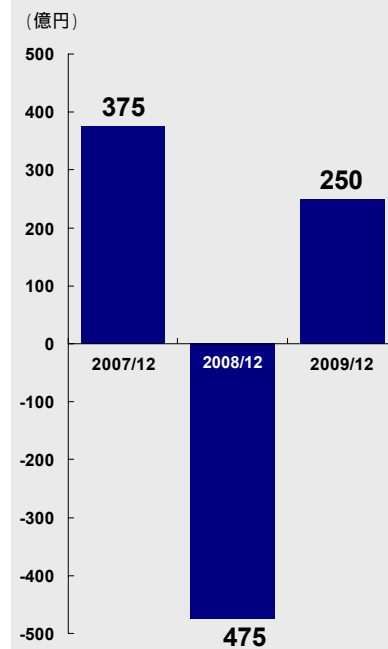
## 経常収益



## 経常利益



## 四半期純利益



株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

- ・連結主要収支はグラフのとおりです。
- ・次ページにて主要収支の詳細をご説明します。

# 連結損益計算書(要約)

	(億円)		
	2009年 12月期	2008年 12月期	増減額
<b>経常収益</b>	<b>16,979</b>	<b>19,521</b>	<b>▲ 2,541</b>
保険料等収入	13,564	12,568	▲ 996
資産運用収益	2,869	3,203	▲ 334
うち利息及び配当金等収入	1,635	1,906	▲ 270
うち有価証券売却益	415	905	▲ 490
うち特別勘定資産運用益	756	-	▲ 756
その他経常収益	545	3,749	▲ 3,203
うち責任準備金戻入額	-	3,112	▲ 3,112
<b>経常費用</b>	<b>16,269</b>	<b>20,841</b>	<b>▲ 4,572</b>
保険金等支払金	12,547	13,948	▲ 1,401
責任準備金等繰入額	657	6	▲ 650
資産運用費用	884	4,648	▲ 3,764
うち金銭の信託運用損	218	-	▲ 218
うち有価証券売却損	140	1,813	▲ 1,673
うち有価証券評価損	93	635	▲ 542
うちその他運用費用	134	691	▲ 556
事業費	1,583	1,603	▲ 20
その他経常費用	597	634	▲ 36
<b>経常利益</b>	<b>710</b>	<b>▲ 1,320</b>	<b>2,030</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲ 117</b>	<b>960</b>	<b>▲ 1,078</b>
契約者配当準備金繰入額	205	164	▲ 41
税金等調整前四半期純利益	386	▲ 524	910
法人税等合計	134	▲ 49	184
<b>四半期純利益</b>	<b>250</b>	<b>▲ 475</b>	<b>725</b>

・大同生命：247億円  
・太陽生命：+793億円  
・T&Dフィナンシャル生命：+449億円

・大同生命：301億円(主に投資信託分配金の減少による)  
・太陽生命：+37億円

・大同生命：107億円(前年同期比 65億円)  
・太陽生命：308億円(前年同期比 423億円)

・大同生命：610億円  
・太陽生命：667億円

・大同生命：14億円(前年同期比 441億円)  
・太陽生命：124億円(前年同期比 1,230億円)

・大同生命：88億円(前年同期比 231億円)  
・太陽生命：5億円(前年同期比 308億円)

大同生命：552億円(投信解約損の減少による)

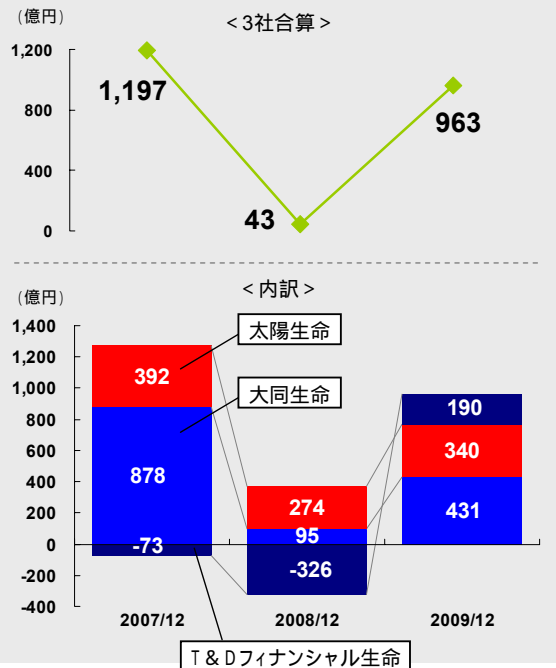
価格変動準備金繰入額：114億円  
・大同生命：14億円  
・太陽生命：100億円(うち超過繰入85億円)

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

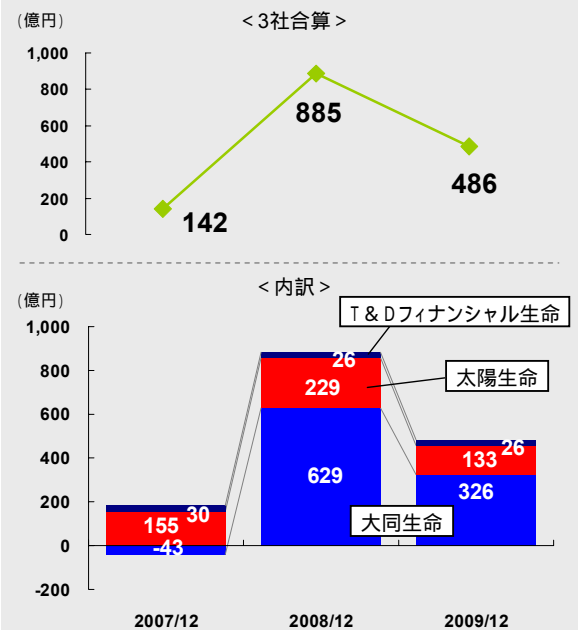
- ・連結損益計算書はご覧のとおりです。ここでは、経常利益と四半期純利益についてご説明いたします。
- ・経常利益は710億円となり、前年同期より2,030億円増加しました。これは有価証券売却損益の増加や有価証券評価損の減少等によります。
- ・四半期純利益は250億円となり、前年同期より725億円増加しました。
- ・なお、特別損益のうち価格変動準備金繰入額は114億円であり、法定基準以上の繰入を太陽生命で85億円実施しています。

# 基礎利益・逆ざや

## 基礎利益



## 逆ざや



\*2007年12月期の3社合算の逆ざや額は、大同生命の順ざや額43億円を控除しています

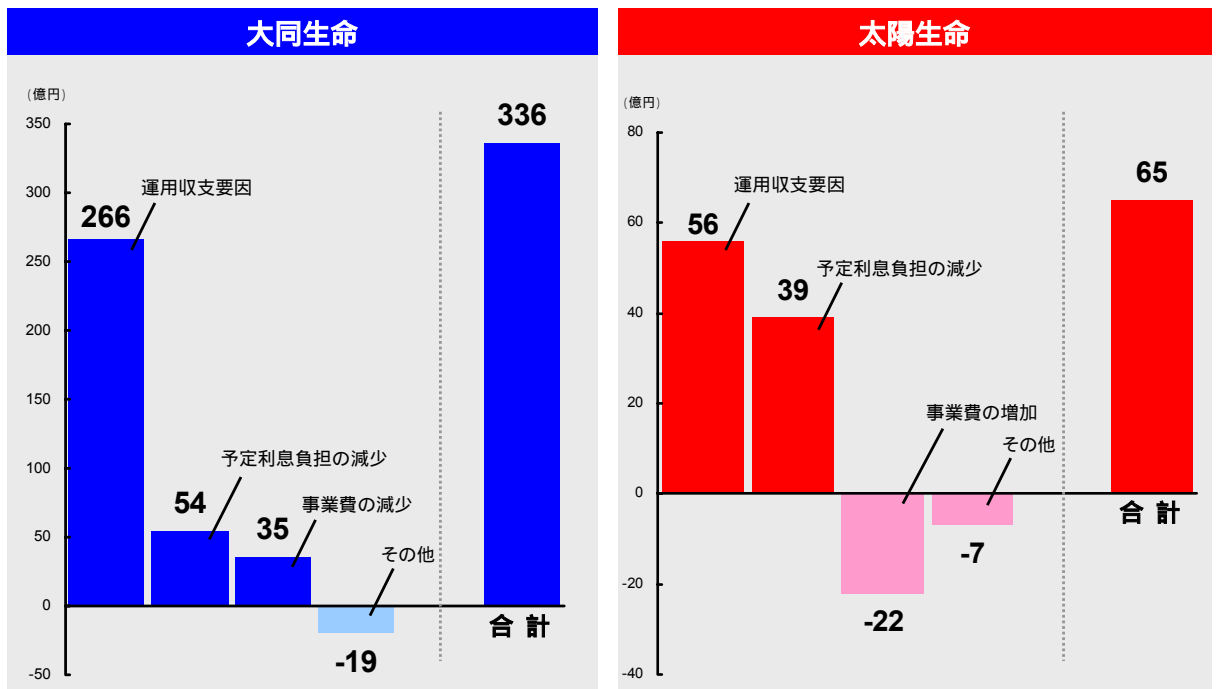
株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

・ 3社合算の基礎利益は963億円となり、前年同期に比べ919億円増加しました。これは、大同生命でその他運用費用が552億円減少、T&Dフィナンシャル生命において最低保証リスクに係る責任準備金が前年同期の繰入から戻入に転じたこと等によります。

・ なお、3社合算ベースの逆ざや額は486億円となりました。

# 基礎利益の増減要因

2009年12月期の基礎利益の増減要因(2008年12月期比)



株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

・大同生命、太陽生命の基礎利益の、前年同期からの増減要因はご覧のとおりです。

# 連結貸借対照表(要約)

	(億円)				(億円)		
	2009年 12月期	2009年 3月期	増減額		2009年 12月期	2009年 3月期	増減額
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現預金・コール	4,860	7,171	▲ 2,311	保険契約準備金	117,496	116,990	506
買入金銭債権	3,507	4,432	▲ 924	責任準備金	115,455	114,804	651
金銭の信託	734	781	▲ 46	危険準備金	1,538	1,476	61
有価証券	89,540	82,185	7,355	その他負債	1,662	3,066	▲ 1,404
貸付金	21,904	22,807	▲ 903	借入金	735	1,704	▲ 968
有形固定資産	3,050	3,086	▲ 35	価格変動準備金	638	524	114
無形固定資産	224	234	▲ 10	負債合計	121,556	122,021	▲ 465
その他資産	1,570	1,917	▲ 347	<b>純資産の部</b>			
繰延税金資産	1,845	2,279	▲ 434	株主資本	5,603	4,284	1,318
貸倒引当金	▲ 42	▲ 26	▲ 15	資本金	2,071	1,476	594
資産合計	127,329	124,985	2,344	資本剰余金	1,946	1,351	594
				利益剰余金	1,595	1,466	129
				評価・換算差額等	151	▲ 1,338	1,490
				その他有価証券評価差額金	630	▲ 862	1,493
				土地再評価差額金	▲ 480	▲ 478	▲ 1
				純資産合計	5,773	2,963	2,809
				負債純資産合計	127,329	124,985	2,344

2009年12月に増資(1,189億円)

・要約連結貸借対照表はご覧のとおりです。

・T&Dホールディングス単体の借入金は前期末時点で1,127億円ありましたが、このうち1,020億円を12月末までに返済しました。残り107億円については今期末までに返済する予定です。

# 資産運用:投資行動レビュー

	大同生命	太陽生命
国内債券	国内債券の増加は、団体年金の資産区分で国債への取組額を増加させたことによる	外国債券への資金シフトに伴い減少
外国債券	資産構成比を前期末から大きく変更せず ・外国債券は12月後半の海外長期金利の上昇局面で追加投資を実施	内外金利差に着目し、残高を積み増し
国内株式	・株式エクスポージャーは上半期に一部売却を実施した後は現状のエクスポージャーを維持	抑制スタンスの中で、相場動向に応じて売買を実施
外国株式		
オルタナティブ投資	・ヘッジファンドは予定していた一部解約を実施 ・プライベート・エクイティはファンドを厳選、残高は横ばい	ヘッジファンド、プライベートエクイティともに新規投資を見送り、また一部解約を実施

・大同生命、太陽生命の第3四半期の投資行動についてそれぞれご説明します。

・大同生命では、国内債券の構成比が増加しました。これは、団体年金の資産区分において国債への取組額を増加させたことによります。

他の資産については、資産構成比を前期末から大きく変更しておりません。外国債券は、12月後半の海外長期金利の上昇局面で追加投資を実施しました。株式エクスポージャーは、上半期に一部売却を実施した後は現状のエクスポージャーを維持しています。

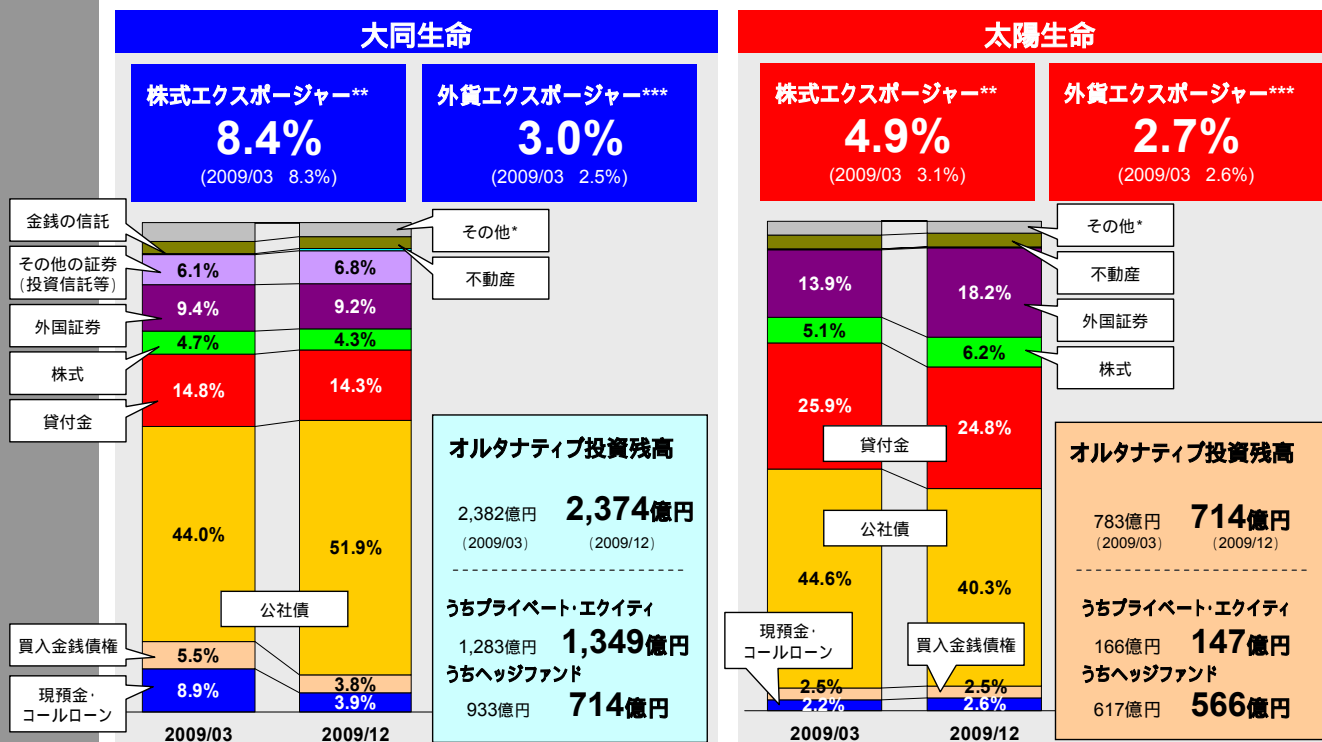
オルタナティブ投資については、前期から予定していたヘッジファンドの解約を引き続き実施し、プライベート・エクイティはファンドを厳選し慎重に取り組みました。

・太陽生命では、円金利資産をベースに安定収益を確保するとともに、株式等リスク性資産については引き続き慎重なスタンスを継続しました。

具体的には、内外金利差に着目し、国内債券と比べて投資妙味が高まった外国債券の積み増しを実施しました。外国債券の積み増しにより外貨建資産が増加しましたが、増加分の為替リスクはヘッジしました。株式については、前期に引き続き抑制スタンスの中で、相場動向に応じて売買を実施しました。

オルタナティブ投資については、ヘッジファンド、プライベート・エクイティともに新規投資を見送り、一部のファンドについて解約を実施しました。

# 一般勘定資産構成比



\*その他資産:繰延税金資産など \*\*株式先物、投信、金銭の信託内の株式等を含めた実質的な株式エクスポージャー \*\*\*為替ヘッジ等を含めた実質的な外貨エクスポージャー  
 \*\*\*\*エクスポージャー比率の計算は各社の採用する方法によります

- ・各社の一般勘定の資産構成比はご覧のとおりです。
- ・実質的な株式のエクスポージャーは、大同生命で前期末からほぼ横ばいの8.4%となりました。また太陽生命では、主に時価の上昇により前期末から1.8ポイント上昇の4.9%となりました。
- ・2009年12月末のオルタナティブ投資資産残高は、大同生命が2,374億円、太陽生命が714億円となりました。

# 一般勘定資産の差損益

(時価のあるものを対象)

(億円)

	大同生命		太陽生命		T&Dフィナンシャル生命		生保3社合算		増減額
	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	
合計	714	▲ 526	933	241	42	29	1,690	▲ 254	1,945
公社債	427	70	503	384	41	29	972	485	486
株式	442	359	635	86	-	-	1,077	446	630
外国証券	▲ 33	▲ 185	▲ 223	▲ 232	▲ 0	-	▲ 257	▲ 417	160
公社債	21	▲ 93	▲ 149	▲ 41	-	-	▲ 128	▲ 134	6
株式等	▲ 55	▲ 91	▲ 74	▲ 191	▲ 0	-	▲ 129	▲ 283	154
その他の証券	▲ 126	▲ 768	3	▲ 1	0	-	▲ 122	▲ 769	647
買入金銭債権	4	▲ 3	14	3	-	-	19	▲ 0	19
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金銭の信託	0	-	-	-	-	-	0	-	0
土地等の差損益	302	303	214	223	-	-	517	527	▲ 9

\* 大同生命、太陽生命の土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています

・3社合算の有価証券の差損益は株式・その他の証券の差損益が増加したことにより、年度始から1,945億円増加し、1,690億円となりました。

# 健全性指標・EEV上の修正純資産

(億円)

	2009年 12月期	2009年 3月期	増減
<b>大同生命</b>			
ソルベンシー・マージン比率	1,072.5%	823.4%	249.1P
実質純資産	5,842	4,479	1,362
EEV上の修正純資産	3,992	3,043	949
<b>太陽生命</b>			
ソルベンシー・マージン比率	1,016.6%	866.4%	150.2P
実質純資産	4,113	3,304	809
EEV上の修正純資産	3,413	2,700	713
<b>T&amp;Dフィナンシャル生命</b>			
ソルベンシー・マージン比率	711.3%	832.0%	▲ 120.7P
実質純資産	942	871	70
EEV上の修正純資産	646	635	11
<b>生保3社合計</b>			
実質純資産	10,898	8,655	2,242
EEV上の修正純資産	8,052	5,353	2,698

株価上昇等に伴う評価差損益の増加により各数値とも上昇・増加

新契約獲得に伴う最低保証リスクの増加などにより低下

・ソルベンシー・マージン比率、実質純資産、EEV上の修正純資産は表のとおりです。

# 2010年3月期 業績予想

## ■ 2009年5月19日開示の予想数値から変更なし

### 通期業績予想 (T&Dホールディングス連結)

	2010年3月期 通期予想	2010年3月期 第3四半期	進捗率	(億円) 2009年3月期 (参考)
経常収益	20,100	16,979	84.5%	25,398
経常利益	780	710	91.1%	▲ 1,838
当期純利益	180	250	139.2%	▲ 890

\* 2010年3月期1株当たり年間配当金(予想): 45円

### 通期見通し(生保3社単体合算)

	2010年3月期 通期見通し	2010年3月期 第3四半期	進捗率	(億円) 2009年3月期 (参考)
新契約高*	63,000	50,342	79.9%	59,910
保有契約高*	575,500	578,595	.. -	580,971
保険料等収入	16,900	13,562	80.2%	16,543
基礎利益	1,010	963	95.3%	▲ 270
逆ざや	500	486		1,537

\* 個人保険、個人年金保険合計。新契約高には、転換による純増加を含みます  
\*\* 年度始より2,375億円の減少

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

- ・2010年3月期の通期業績予想は表のとおりです。
- ・通期業績予想に対する進捗率は高水準で推移していますが、今後、市場動向によってはキャピタル損益に大きな変動が発生する可能性もあることから、現時点で業績予想の変更はいたしません。
- ・1株あたり年間配当金も45円から変更ありません。

# (参考)2010年3月期 通期業績予想:生保3社



(億円)

	大同生命			太陽生命			T&Dフィナンシャル生命			
	2010年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	
通期業績予想	経常収益	9,700	8,095	12,505	9,100	7,232	11,121	2,700	3,088	2,853
	保険料等収入	7,800	5,878	8,119	6,600	5,398	5,966	2,500	2,285	2,457
	経常利益	500	384	▲ 933	410	389	▲ 636	▲ 140	▲ 64	▲ 268
	基礎利益	550	431	▲ 312	500	340	450	▲ 40	190	▲ 408
	当期純利益	170	158	▲ 520	110	141	▲ 155	▲ 100	▲ 44	▲ 198
通期見直し	新契約高	38,600	27,271	37,616	22,000	20,536	20,131	2,400	2,084	2,162
	各社主力商品	37,200	26,550	36,270	-	-	-	1,800	2,076	2,162
	保有契約高	377,400	375,091	386,218	176,800	181,154	173,552	21,300	22,350	21,200
	各社主力商品	344,200	340,968	351,055	-	-	-	8,200	9,255	6,749
	保有契約年換算保険料	6,400	6,681	6,648	6,000	6,045	6,130	1,700	1,695	1,346
	逆ざや額	300	326	1,298	170	133	202	30	26	36
	解約失効率	9.8%	10.57%	10.01%	7.5%	6.52%	7.25%	5.7%	5.27%	5.98%

\* 契約高は個人保険・個人年金保険。新契約高には、転換による純増加を含みます。大同生命の主力商品は個人定期保険、T&Dフィナンシャル生命の主力商品は変額個人年金保険

・(参考)2010年3月期 通期業績予想:生保3社

✓ 損益計算書(要約)	22
✓ 貸借対照表(要約)	25
✓ 一般勘定資産構成比	28
✓ 外国証券・その他の証券の内訳	30
✓ 外国証券(公社債)の内訳	31
✓ 有価証券評価損の内訳	32
✓ 一般勘定資産の差損益	33
✓ 基礎利益・逆ざや・平均予定利率	35
✓ 配当区分別構成比	37
✓ 健全性指標明細	39
✓ 主要業績の推移	42

# 損益計算書(要約):大同生命単体

	2009年 12月期	2008年 12月期	増減額	
(億円)				
<b>経常収益</b>	<b>8,095</b>	<b>9,294</b>	<b>▲ 1,199</b>	うち団体年金: 234億円
保険料等収入	5,878	6,126	▲ 247	主な内訳 ・投資信託分配金: 181億円 ・プライベート・エクイティ分配金: 49億円 ・預貯金利息: 28億円
うち個人定期保険	3,909	4,107	▲ 197	
資産運用収益	865	1,323	▲ 457	
うち利息及び配当金等収入	655	956	▲ 301	ヘッジファンドに係る損益の増加
うち売買目的有価証券運用益	41	-	41	
うち有価証券売却益	107	173	▲ 65	主な内訳(前年同期比) ・為替予約: 58億円(+123億円) ・株式先物: 90億円(+73億円)
うち金融派生商品収益	-	173	▲ 173	
その他経常収益	1,350	1,844	▲ 493	うち団体年金: 606億円
うち責任準備金戻入額	1,238	1,746	▲ 508	
<b>経常費用</b>	<b>7,710</b>	<b>10,078</b>	<b>▲ 2,367</b>	主な内訳(前年同期比) ・外国証券: 38億円( 6億円) ・買入金銭債権: 20億円(+20億円) ・公社債: 16億円( 0億円) ・国内株式: 8億円( 127億円) ・その他の証券: 3億円( 118億円)
保険金等支払金	6,425	7,035	▲ 610	
責任準備金等繰入額	5	5	▲ 0	
資産運用費用	344	2,047	▲ 1,703	うち投信の解約損: 33億円(前年同期比 561億円)
うち売買目的有価証券運用損	-	381	▲ 381	
うち有価証券評価損	88	320	▲ 231	価格変動準備金繰入額: 14億円
うち金融派生商品費用	28	-	28	
うち貸付金償却	50	0	49	
うちその他運用費用	110	663	▲ 552	
事業費	817	871	▲ 54	
その他経常費用	118	117	▲ 1	
<b>経常利益</b>	<b>384</b>	<b>▲ 783</b>	<b>1,168</b>	
<b>特別損益</b>	<b>▲ 15</b>	<b>337</b>	<b>▲ 352</b>	
<b>契約者配当準備金繰入額</b>	<b>106</b>	<b>79</b>	<b>27</b>	
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>262</b>	<b>▲ 526</b>	<b>788</b>	
<b>法人税等合計</b>	<b>103</b>	<b>▲ 145</b>	<b>249</b>	
<b>四半期純利益</b>	<b>158</b>	<b>▲ 380</b>	<b>539</b>	

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

・損益計算書(要約):大同生命単体

# 損益計算書(要約): 太陽生命単体

(億円)

	2009年 12月期	2008年 12月期	増減額
<b>経常収益</b>	<b>7,232</b>	<b>8,560</b>	<b>▲ 1,328</b>
保険料等収入	5,398	4,604	793
資産運用収益	1,283	1,666	▲ 382
うち利息及び配当金等収入	966	929	37
うち有価証券売却益	308	732	▲ 423
その他経常収益	550	2,289	▲ 1,739
うち責任準備金戻入額	342	1,998	▲ 1,655
<b>経常費用</b>	<b>6,842</b>	<b>8,958</b>	<b>▲ 2,115</b>
保険金等支払金	5,578	6,246	▲ 667
責任準備金等繰入額	0	0	▲ 0
資産運用費用	309	1,744	▲ 1,435
うち有価証券売却損	124	1,354	▲ 1,230
うち有価証券評価損	5	313	▲ 308
うち金融派生商品費用	120	8	111
事業費	616	593	22
その他経常費用	337	373	▲ 35
<b>経常利益</b>	<b>389</b>	<b>▲ 397</b>	<b>787</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲ 102</b>	<b>623</b>	<b>▲ 726</b>
契約者配当準備金繰入額	99	85	14
税引前四半期純利益	187	140	46
法人税等合計	45	130	▲ 85
<b>四半期純利益</b>	<b>141</b>	<b>10</b>	<b>131</b>

主な内訳  
・個保・個年: +149億円  
・団体年金: +634億円

主な内訳  
・外国債券利息: +75億円  
・国内債券利息: 19億円  
・国内外株式配当金: 26億円

主な内訳(前年同期比)  
・国内株式: 121億円( 284億円)  
・外国証券: 112億円( 29億円)

主な内訳  
・個保・個年: 307億円  
・団体年金: 360億円

主な内訳(前年同期比)  
・外国証券: 66億円( 624億円)  
・国内株式: 29億円( 616億円)  
・国内債券: 28億円(+10億円)

主な内訳(前年同期比)  
・為替関連: 48億円(+41億円)  
・株式関連: 71億円(+70億円)

価格変動準備金繰入額: 100億円  
うち超過繰入: 85億円

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

・損益計算書(要約): 太陽生命単体

# 損益計算書(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

(億円)

	2009年 12月期	2008年 12月期	増減額
<b>経常収益</b>	<b>3,088</b>	<b>2,208</b>	<b>879</b>
保険料等収入	2,285	1,836	449
うち変額個人年金	2,080	1,626	453
資産運用収益	737	288	449
うち利息及び配当金等収入	29	31	▲ 2
うち金銭の信託運用益	-	256	▲ 256
うち特別勘定資産運用益	708	-	708
その他経常収益	65	84	▲ 19
<b>経常費用</b>	<b>3,152</b>	<b>2,368</b>	<b>784</b>
保険金等支払金	542	666	▲ 124
責任準備金等繰入額	2,240	642	1,598
うち最低保証責任準備金繰入 (は戻入)	▲ 202	401	▲ 603
資産運用費用	220	916	▲ 696
うち金銭の信託運用損	218	-	218
うち特別勘定資産運用損	-	911	▲ 911
事業費	129	121	8
その他経常費用	20	21	▲ 1
<b>経常利益</b>	<b>▲ 64</b>	<b>▲ 159</b>	<b>95</b>
<b>特別損益</b>	<b>0</b>	<b>▲ 0</b>	<b>0</b>
契約者配当準備金繰入額 (は契約者配当準備金戻入額)	▲ 0	0	▲ 0
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>▲ 63</b>	<b>▲ 159</b>	<b>95</b>
法人税等合計	▲ 18	▲ 46	27
<b>四半期純利益</b>	<b>▲ 44</b>	<b>▲ 112</b>	<b>68</b>

・相場回復による戻入: 285億円  
・新契約の獲得による繰入: 83億円

・損益計算書(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

# 貸借対照表(要約):大同生命単体

	(億円)				(億円)		
	2009年 12月期	2009年 3月期	増減額		2009年 12月期	2009年 3月期	増減額
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現預金・コール	2,095	4,890	▲ 2,795	保険契約準備金	49,693	51,068	▲ 1,375
買入金銭債権	2,052	2,978	▲ 925	責任準備金	48,353	49,591	▲ 1,238
金銭の信託	229	135	94	危険準備金	521	532	▲ 10
有価証券	39,503	35,212	4,290	価格変動準備金	434	420	14
公社債	28,246	24,019	4,226	負債の部合計	51,440	52,852	▲ 1,411
株式	2,464	2,628	▲ 163	<b>純資産の部</b>			
外国証券	5,067	5,194	▲ 127	株主資本	2,813	2,715	97
その他の証券	3,724	3,369	355	資本金	1,100	1,100	-
貸付金	7,732	8,017	▲ 284	資本剰余金	350	350	-
有形固定資産	1,390	1,407	▲ 16	利益剰余金	1,362	1,265	97
無形固定資産	64	74	▲ 10	評価・換算差額等	291	▲ 856	1,148
その他資産	464	751	▲ 287	その他有価証券評価差額金	289	▲ 860	1,150
繰延税金資産	1,020	1,237	▲ 216	純資産の部合計	3,104	1,859	1,245
貸倒引当金	▲ 21	▲ 8	▲ 13	負債及び純資産の部合計	54,545	54,711	▲ 166
資産の部合計	54,545	54,711	▲ 166				

主な変動要因

- ・公社債: 団体年金の資産区分で国債への取組額が増加
- ・株式: 時価上昇の一方、売却により減少
- ・外国証券: 時価上昇の一方、ヘッジファンドの解約等により減少
- ・その他の証券: 投信解約の一方、時価の上昇により増加

・貸借対照表(要約):大同生命単体

# 貸借対照表(要約): 太陽生命単体

(億円)				(億円)			
	2009年 12月期	2009年 3月期	増減額		2009年 12月期	2009年 3月期	増減額
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現預金・コール	1,530	1,262	268	保険契約準備金	54,426	54,773	▲ 346
買入金銭債権	1,454	1,453	1	責任準備金	53,776	54,118	▲ 342
有価証券	37,461	36,756	704	危険準備金	773	768	4
公社債	23,284	25,725	▲ 2,440	社債	140	-	140
株式	3,587	2,928	659	其他負債	679	904	▲ 225
外国証券	10,547	8,055	2,491	借入金	360	350	10
その他の証券	41	47	▲ 5	価格変動準備金	200	100	100
貸付金	14,296	14,938	▲ 641	負債の部合計	55,925	56,254	▲ 328
有形固定資産	1,616	1,624	▲ 7	<b>純資産の部</b>			
無形固定資産	124	124	▲ 0	株主資本	2,009	1,926	82
其他資産	689	710	▲ 21	資本金	625	625	-
繰延税金資産	643	855	▲ 212	資本剰余金	625	625	-
貸倒引当金	▲ 18	▲ 16	▲ 1	利益剰余金	759	676	82
資産の部合計	57,799	57,711	87	評価・換算差額等	▲ 135	▲ 469	334
				其他有価証券評価差額金	344	9	335
				土地再評価差額金	▲ 480	▲ 478	▲ 1
				純資産の部合計	1,874	1,457	416
				負債及び純資産の部合計	57,799	57,711	87

主な変動要因  
 ・公社債: 主に外国公社債へのシフトにより減少  
 ・株式: 主に時価の上昇  
 ・外国証券: 主に外国公社債の増加

・貸借対照表(要約): 太陽生命単体

# 貸借対照表(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

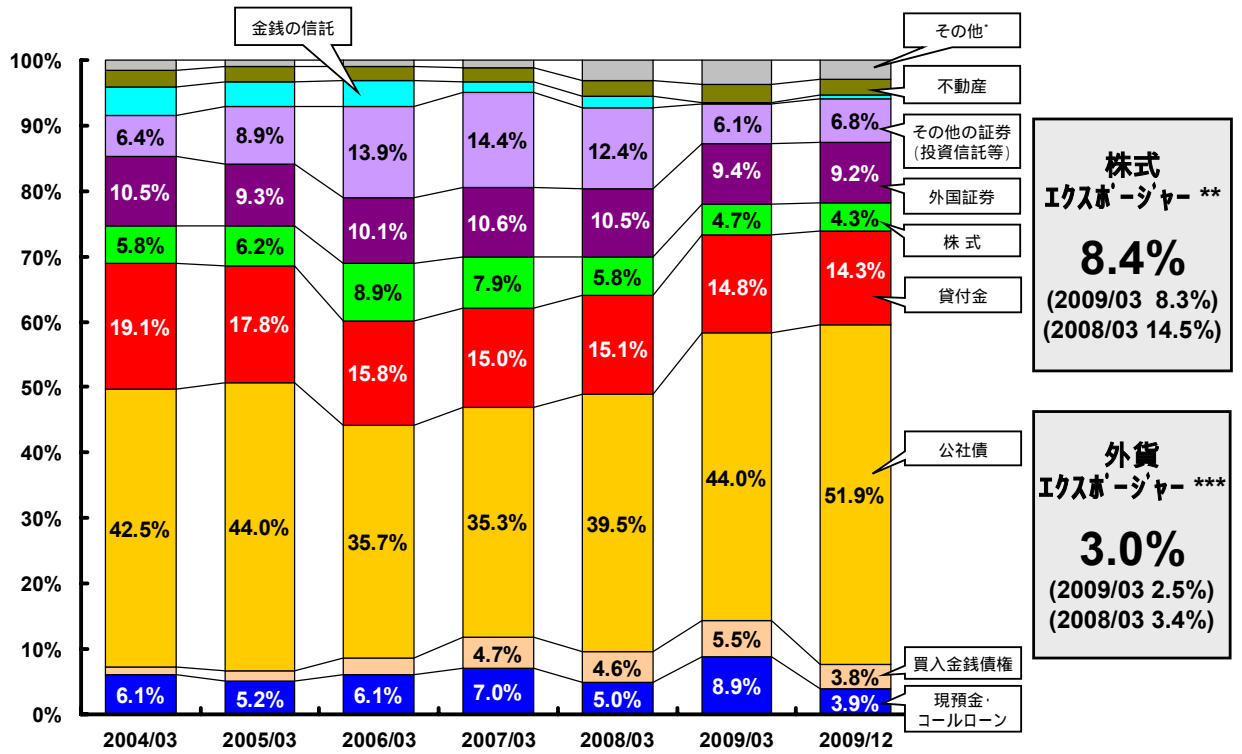


	(億円)				(億円)		
	2009年 12月期	2009年 3月期	増減額		2009年 12月期	2009年 3月期	増減額
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現預金・コール	380	430	▲ 50	保険契約準備金	13,367	11,130	2,236
金銭の信託	505	646	▲ 140	責任準備金	13,317	11,076	2,240
有価証券	12,595	10,244	2,351	危険準備金	242	175	67
公社債	3,680	3,785	▲ 105	価格変動準備金	4	4	▲ 0
株式	8	6	1	負債の部合計	13,477	11,240	2,236
外国証券	17	17	▲ 0	<b>純資産の部</b>			
その他の証券	8,890	6,435	2,455	株主資本	438	482	▲ 44
貸付金	64	66	▲ 1	資本金	560	560	-
有形固定資産	2	2	▲ 0	資本剰余金	460	460	-
無形固定資産	20	20	▲ 0	利益剰余金	▲ 581	▲ 537	▲ 44
その他資産	56	34	21	評価・換算差額等	▲ 6	▲ 12	6
繰延税金資産	163	165	▲ 1	その他有価証券評価差額金	▲ 6	▲ 12	6
貸倒引当金	▲ 0	▲ 0	0	純資産の部合計	431	470	▲ 38
資産の部合計	13,908	11,711	2,197	負債及び純資産の部合計	13,908	11,711	2,197

変額年金の保有契約高の増加により  
投資信託が増加

・貸借対照表(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

# 一般勘定資産構成比: 大同生命



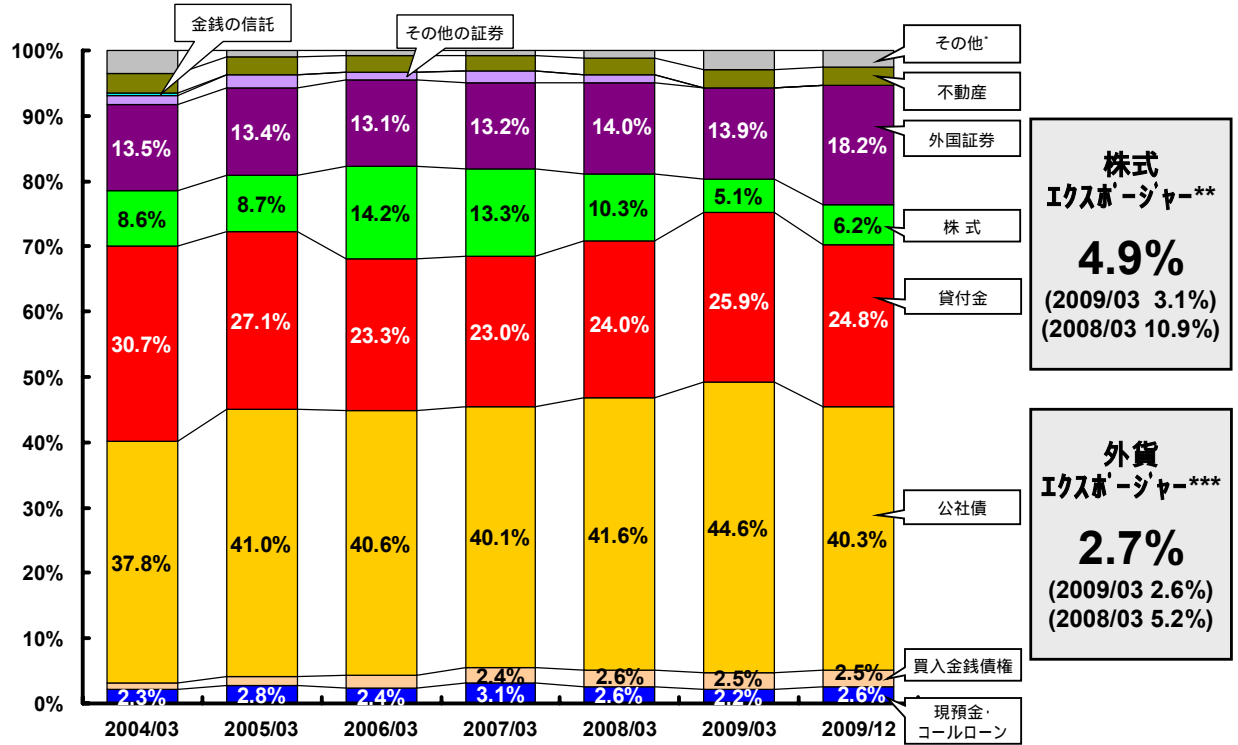
**株式  
エクスポージャー \*\***  
**8.4%**  
(2009/03 8.3%)  
(2008/03 14.5%)

**外貨  
エクスポージャー \*\*\***  
**3.0%**  
(2009/03 2.5%)  
(2008/03 3.4%)

\* その他資産: 繰延税金資産、有形固定資産、無形固定資産など \*\* 株式先物、投信、金銭の信託内の株式等を含めた実質的な株式エクスポージャー  
\*\*\* 為替ヘッジ等を含めた実質的な外貨エクスポージャー

## 一般勘定資産構成比: 大同生命

# 一般勘定資産構成比: 太陽生命



**株式  
エクスポージャー\*\***  
**4.9%**  
(2009/03 3.1%)  
(2008/03 10.9%)

**外貨  
エクスポージャー\*\*\***  
**2.7%**  
(2009/03 2.6%)  
(2008/03 5.2%)

\* その他資産: 繰延税金資産、有形固定資産、無形固定資産など \*\* ヘッジ: 株式投信等を含めた実質的な株式エクスポージャー  
\*\*\* 為替ヘッジ等を反映した実質的な外貨エクスポージャー

## 一般勘定資産構成比: 太陽生命

# 外国証券・その他の証券の内訳

(億円)

	大同生命			太陽生命		
	2009年 12月期	2009年 3月期	増減	2009年 12月期	2009年 3月期	増減
<b>外国証券</b>	<b>4,987</b>	<b>5,125</b>	<b>▲ 138</b>	<b>10,528</b>	<b>8,041</b>	<b>2,487</b>
外国公社債	1,718	1,587	130	8,240	5,759	2,481
外国株式等*	3,268	3,537	▲ 268	2,288	2,281	6
うちヘッジファンド	714	933	▲ 219	566	617	▲ 50
うちプライベート・エクイティ	1,209	1,137	71	121	140	▲ 19
<b>その他の証券</b>	<b>3,661</b>	<b>3,313</b>	<b>348</b>	<b>41</b>	<b>47</b>	<b>▲ 5</b>
国内投資信託	3,386	3,054	331	-	9	▲ 9
うちREIT	28	33	▲ 5	-	-	-
その他	275	258	16	41	37	4
うちプライベート・エクイティ	137	143	▲ 5	26	25	0

\*外国株式等のうち、ヘッジファンド、プライベート・エクイティを除いた内訳は、大同生命・太陽生命ともに主に邦銀の外国籍SPCが発行する優先出資証券です

・外国証券・その他の証券の内訳

# 外国証券(公社債)の内訳

(億円)

	大同生命 (2009年12月期)		太陽生命 (2009年12月期)	
	金額	割合	金額	割合
外国国債	368	21.4%	7,265	88.2%
うちBBB格以上	368	21.4%	7,265	88.2%
国際機関債	32	1.9%	462	5.6%
うちBBB格以上	32	1.9%	462	5.6%
政府関係機関債・公企業債	2	0.2%	404	4.9%
うちBBB格以上	2	0.2%	404	4.9%
外国地方債	-	-	-	-
うちBBB格以上	-	-	-	-
外国事業債	1,314	76.5%	108	1.3%
うちBBB格以上	1,310	76.3%	108	1.3%
合計	1,718	100.0%	8,240	100.0%

\* 「BBB格以上」は各社の社内格付けに基づいて分類しています

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

・外国証券(公社債)の内訳

# 有価証券評価損の内訳

(億円)

	大同生命 (2009年12月期)	太陽生命 (2009年12月期)
公社債	16	-
株式	8	5
外国証券	38	-
外国公社債	-	-
外国株式等	38	-
うちプライベート・エクイティ	38	-
その他の証券	3	-
国内投資信託	-	-
REIT	-	-
その他	3	-
プライベート・エクイティ	3	-
買入金銭債権	20	-
合計	88	5

・有価証券評価損の内訳

# 一般勘定資産の差損益:大同生命

(億円)

	満期保有目的債券 の含み損益		その他有価証券 の評価差損益		合計		
	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	増減額
合計	19	▲ 0	695	▲ 525	714	▲ 526	1,240
公社債	19	▲ 0	407	71	427	70	356
株式	-	-	442	359	442	359	82
外国証券	-	-	▲ 33	▲ 185	▲ 33	▲ 185	151
公社債	-	-	21	▲ 93	21	▲ 93	114
株式等	-	-	▲ 55	▲ 91	▲ 55	▲ 91	36
その他の証券	-	-	▲ 126	▲ 768	▲ 126	▲ 768	642
買入金銭債権	-	-	4	▲ 3	4	▲ 3	7
金銭の信託	-	-	0	-	0	-	0
土地等					302	303	▲ 0

\* 有価証券のうち、時価のあるものを対象としています

\*\* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格をもとに算出しています

・一般勘定資産の差損益:大同生命

# 一般勘定資産の差損益: 太陽生命

(億円)

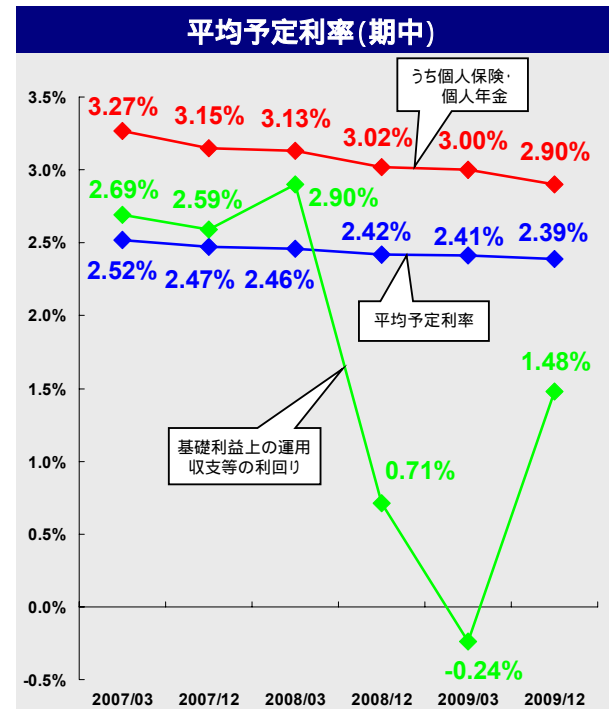
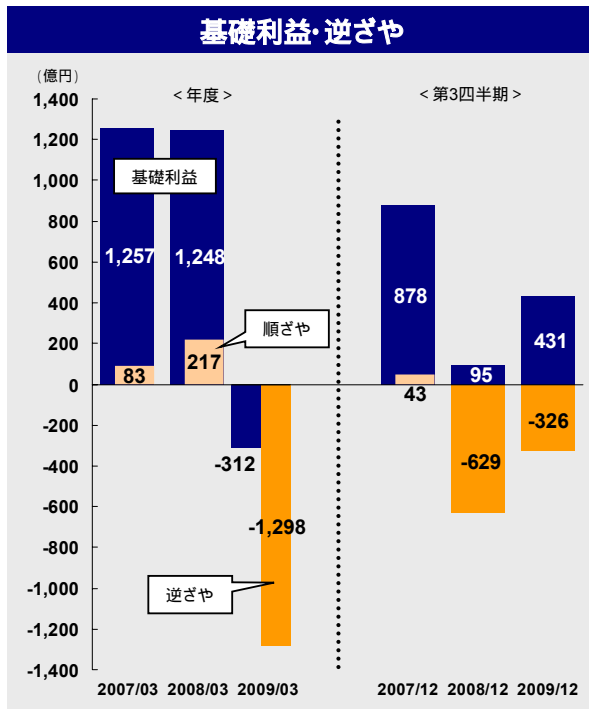
	満期保有目的債券 の含み損益		責任準備金対応 債券の含み損益		その他有価証券 の評価差損益		合計		
	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	2009年 12月期	2009年 3月期	増減額
合計	56	25	307	169	569	46	933	241	692
公社債	41	20	307	169	154	194	503	384	118
株式	-	-	-	-	635	86	635	86	548
外国証券	-	-	-	-	▲ 223	▲ 232	▲ 223	▲ 232	8
公社債	-	-	-	-	▲ 149	▲ 41	▲ 149	▲ 41	▲ 108
株式等	-	-	-	-	▲ 74	▲ 191	▲ 74	▲ 191	117
その他の証券	-	-	-	-	3	▲ 1	3	▲ 1	4
買入金銭債権	14	4	-	-	0	▲ 1	14	3	11
金銭の信託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土地等							214	223	▲ 8

\* 有価証券のうち、時価のあるものを対象としています

\*\* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要度の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています

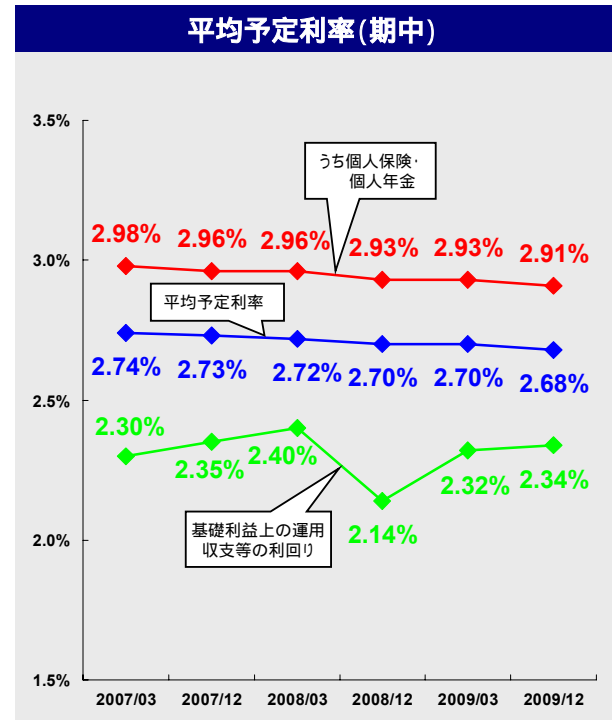
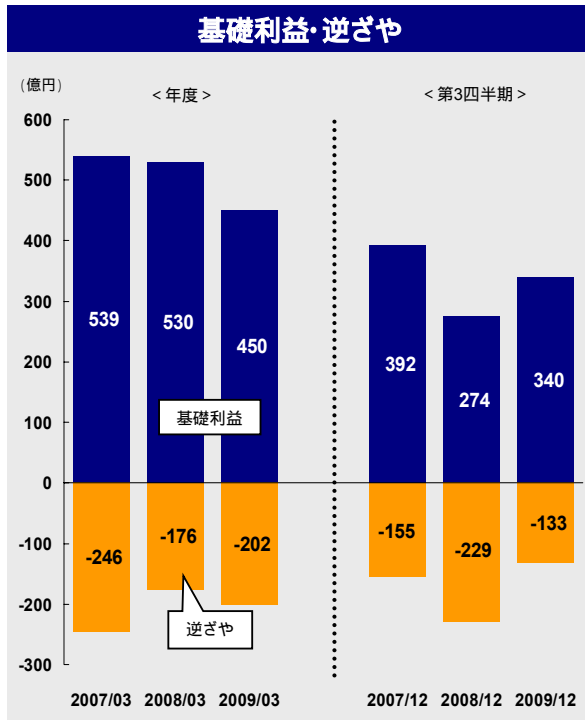
・一般勘定資産の差損益: 太陽生命

# 基礎利益・逆ざや・平均予定利率:大同生命



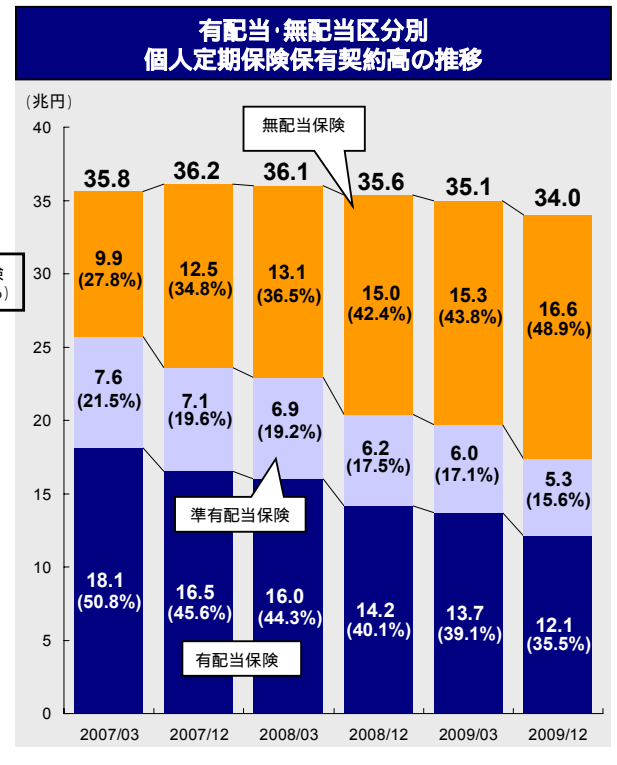
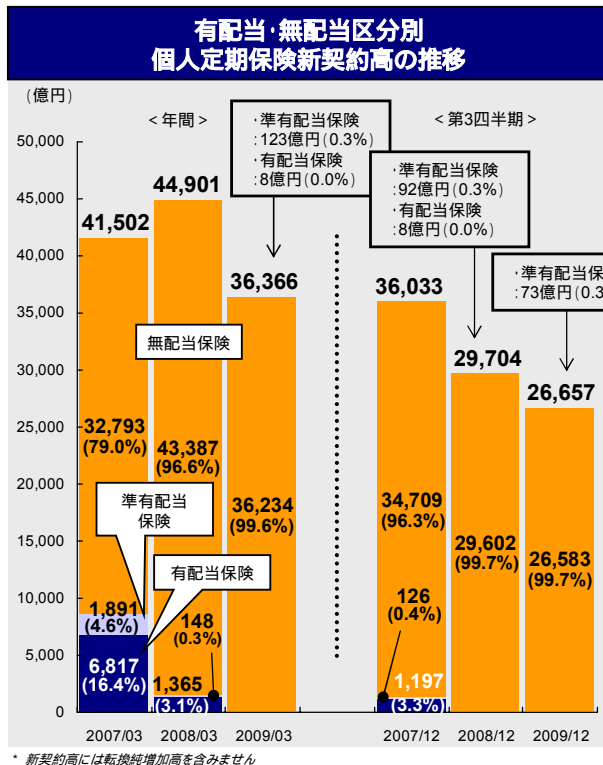
・基礎利益・逆ざや・平均予定利率:大同生命

# 基礎利益・逆ざや・平均予定利率:太陽生命



・基礎利益・逆ざや・平均予定利率:太陽生命

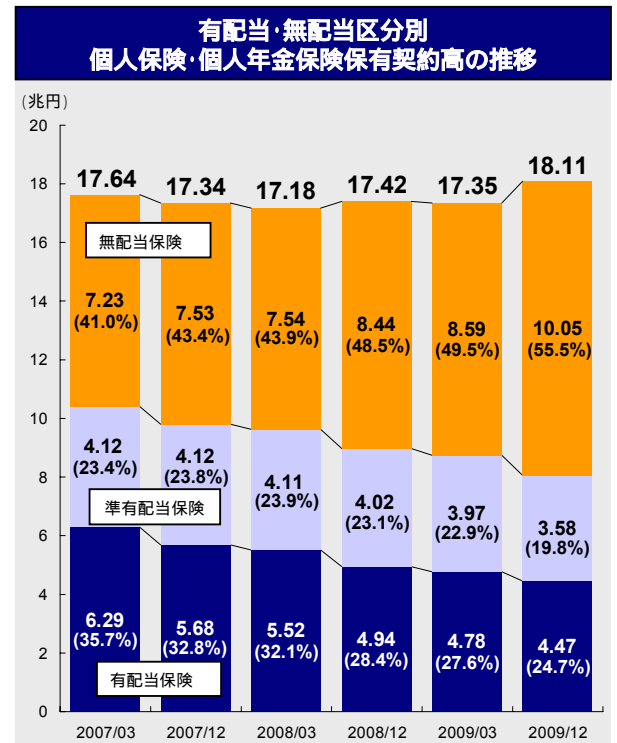
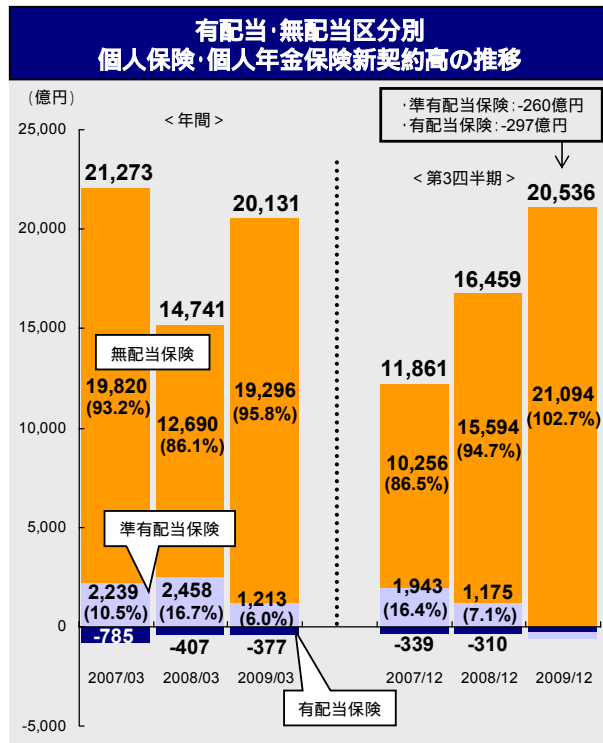
# 配当区分別構成比:大同生命



株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

## ・配当区分別構成比:大同生命

# 配当区分別構成比: 太陽生命



\* 上表は、主要約・特約単位別に区分をしたものです。新契約高には、転換による純増加を含みます

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

・配当区分別構成比: 太陽生命

# 健全性指標明細:大同生命

(百万円)

項目	EEV上の 修正純資産	実質純資産	ソルベンシー・ マージン	
純資産の部(除く評価・換算差額等)	281,305	281,305	281,305	
不動産圧縮積立金	-	-	▲ 1,559	
社外流出予定額	-	-	▲ 6,088	株主配当金
その他有価証券評価差額金	26,318	42,366	38,129	税引後(不動産ファンドを含む) 税引前 税引前の90% (マイナスの場合100%)
貸付金の含み損益	6,396	-	-	税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	186	186	-	税引後
土地の含み損益	14,808	30,277	25,736	税引後(建物の含み損益を含む) 税引前 税引前の85%
価格変動準備金	43,445	43,445	43,445	
危険準備金	52,194	52,194	52,194	
配当準備金中の未割当額	7,298	7,298	7,298	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	125,150	125,150	
将来利益	-	-	7,108	
負債中内部留保に係る税効果	▲ 37,171	-	-	(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当 額)×税率(36.11%)
税効果相当額	-	-	64,083	
一般貸倒引当金	921	-	1,441	税引後 税引前
負債性資本調達手段等	-	-	-	劣後ローン等取り入れ時には にのみカウント
負債性資本の含み損益	-	-	-	
有価証券含み損益(満期保有等)	3,573	1,984	-	税引後(子会社・関連会社株式の含み損益を含む) 税引前
合計	399,277	584,210	638,247	

・健全性指標明細:大同生命

# 健全性指標明細: 太陽生命

(百万円)

項目	EEV上の修正純資産	実質純資産	ソルベンシー・マージン	
純資産の部(除く評価・換算差額)	200,929	200,929	200,929	
不動産圧縮積立金	-	-	-	
社外流出予定額	-	-	▲ 5,908	株主配当金
その他有価証券評価差額金	34,456	51,909	46,718	税引後 税引前 税引前の90%(マイナスの場合100%)
貸付金の含み損益	21,840	-	-	税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	1,761	19	-	金利スワップの特例処理分を含む(税引後) 税引後
土地の含み損益	▲ 12,717	▲ 26,505	▲ 15,964	税引後(土地再評価に係る差損益、建物の差損益を含む) 税引前(B/S上の土地再評価差額金を含む) 税引前(土地再評価に係る差損益を含む)
価格変動準備金	20,037	20,037	20,037	
危険準備金	77,348	77,348	77,348	
配当準備金中の未割当額	11,304	11,304	11,304	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	39,986	39,986	
将来利益	-	-	1,377	
負債中内部留保に係る税効果	▲ 39,237	-	-	(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)× 税率(36.1%)
税効果相当額	-	-	39,558	
一般貸倒引当金	1,075	-	1,683	税引後 税引前
負債性資本調達手段等	-	-	50,000	劣後ローン等取り入れ時には へのみカウント
負債性資本の含み損益	▲ 344	-	-	税引後
有価証券含み損益(責任準備金対応債券等)	24,883	36,356	-	税引後(子会社・関係会社株式の含み損益を含む) 税引前
合計	341,338	411,386	467,072	

株式会社T&Dホールディングス 2010年3月期第3四半期決算のご説明

# 健全性指標明細: T&Dフィナンシャル生命



(百万円)

項目	EEV上の修正純資産	実質純資産	ソルベンシー・マージン	
純資産の部(除く評価・換算差額等)	43,806	43,806	43,806	
不動産圧縮積立金	-	-	-	
社外流出予定額	-	-	-	株主配当金
その他有価証券評価差額金	▲ 429	▲ 613	▲ 613	税引後 税引前 税引前の90%(マイナスの場合100%)
貸付金の含み損益	564	-	-	税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	-	-	-	税引後
土地の含み損益	-	-	-	税引後 税引前
価格変動準備金	416	416	416	
危険準備金	24,268	24,268	24,268	
配当準備金中の未割当額	-	-	-	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	21,464	33,351	変額年金に係る再保険貸を は除く、 は含む
将来利益	-	-	-	
負債中内部留保に係る税効果	▲ 7,405	-	-	(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)×法人税率分(30%)
税効果相当額	-	-	-	
一般貸倒引当金	2	-	3	税引後 税引前
負債性資本調達手段等	-	-	-	劣後ローン等取り入れ時には におのみカウント
負債性資本の含み損益	-	-	-	
有価証券含み損益(満期保有等)	3,402	4,860	-	税引後 税引前
合計	64,625	94,202	101,232	

## ・健全性指標明細: T & Dフィナンシャル生命

# 主要業績の推移: 3社合算

- 2001年3月期以前は大同生命・太陽生命の単体合算数値を、2002年3月期以降はT&Dフィナンシャル生命を含めた3社単純合算数値を記載しています。

(億円)

(各年3月期)	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
保有契約高 *1	544,129	542,561	541,622	577,821	579,255	585,084	595,735	602,650	598,999	593,403	580,971
新契約高 *1 *2	66,302	64,679	63,332	69,329	73,165	75,680	75,449	72,938	66,347	62,018	59,910
保険料等収入	24,275	22,921	21,696	21,137	20,047	18,785	17,989	19,023	18,115	16,131	16,543
解約失効高 *1 *2	47,927	48,440	47,280	47,028	52,157	51,991	48,757	51,027	53,625	50,642	53,732
基礎利益	1,145	969	1,281	1,265	1,142	1,417	1,298	1,272	1,733	1,597	▲ 270
総資産	124,519	128,152	131,667	134,154	131,489	131,097	129,875	139,322	140,280	132,824	124,135

\*1 個人保険、個人年金保険の合計 \*2 新契約高には転換純増加高を含む

## ・主要業績の推移: 3社合算

# 主要業績の推移: 大同生命

(億円)

(各年3月期)	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
保有契約高 *1	392,838	390,711	389,897	389,291	393,426	392,948	396,942	400,080	397,320	398,971	386,218
うち個人定期保険	338,650	339,408	341,096	343,090	348,046	349,641	354,796	359,336	358,181	361,753	351,055
新契約高 *2	47,732	46,203	44,014	45,704	46,735	43,097	43,542	42,927	43,278	46,342	37,616
うち個人定期保険	42,416	42,513	40,486	42,929	42,985	40,873	41,260	40,807	41,419	44,898	36,270
保険料等収入	11,928	11,369	10,722	10,594	9,894	9,282	8,848	8,711	8,652	8,433	8,119
うち個人保険保険料 *1	7,026	6,848	6,867	6,620	6,849	6,410	6,642	6,678	6,738	6,694	6,534
解約失効高 *1	38,765	38,451	35,269	34,932	32,906	33,177	30,265	30,400	36,158	35,500	39,924
解約失効率 (%)	9.9%	9.8%	9.0%	9.0%	8.45%	8.44%	7.70%	7.66%	9.04%	8.93%	10.01%
基礎利益	-	-	1,142	1,098	887	1,073	1,027	961	1,257	1,248	▲ 312
営業職員数(人)	6,126	5,456	4,866	5,154	5,194	5,251	4,888	4,909	4,726	4,307	4,156
募集代理店数(店)	13,213	13,135	13,203	13,252	12,970	13,079	13,415	13,963	14,295	14,460	14,321
総資産	54,826	57,335	59,003	59,827	60,071	60,179	59,837	64,061	63,970	60,478	54,711

\*1 個人保険、個人年金保険の合計 \*2 新契約高には転換純増加高を含む

## ・主要業績の推移: 大同生命

# 主要業績の推移: 太陽生命

(億円)

(各年3月期)	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
保有契約高 *1	151,291	151,850	151,725	152,329	152,686	160,778	169,662	175,915	176,445	171,822	173,552
うち個人保険	101,867	100,340	99,588	102,173	105,002	115,779	127,065	135,720	138,203	134,683	137,617
新契約高 *1*2	18,570	18,476	19,317	21,881	21,754	28,142	28,910	28,383	21,273	14,741	20,131
うち個人保険	13,398	13,332	14,581	20,479	20,910	27,972	29,024	28,615	21,070	13,721	19,066
保険料等収入	12,346	11,552	10,973	10,190	8,879	7,941	7,881	8,230	7,055	6,357	5,966
うち個人保険・個人年金保険	10,950	9,724	9,148	8,378	7,621	6,802	6,466	6,092	5,765	5,320	5,086
解約失効高 *1	9,161	9,988	12,011	12,096	13,188	13,626	14,240	16,440	15,038	13,486	12,455
解約失効率 *1	6.06%	6.60%	7.91%	7.97%	8.66%	8.92%	8.86%	9.69%	8.55%	7.64%	7.25%
基礎利益	-	-	139	138	287	375	338	381	539	530	450
営業職員数(人)	10,450	10,111	9,276	8,948	8,808	8,703	9,111	8,963	8,116	7,619	8,226
総資産	69,693	70,816	72,663	68,340	65,280	64,095	62,765	65,919	65,525	61,855	57,711

\*1 個人保険 + 個人年金保険 \*2 新契約高には、転換による純増加を含む

## ・主要業績の推移: 太陽生命

# 主要業績の推移:T&Dフィナンシャル生命



(億円)

(各年3月期)	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
保有契約高 <sup>*1</sup>	36,201	33,142	31,357	29,130	26,654	25,233	22,610	21,200
うち変額個人年金	13	641	1,751	2,457	4,595	6,215	5,968	6,749
新契約高 <sup>*1</sup>	1,743	4,675	4,440	2,997	1,627	1,795	933	2,162
うち変額個人年金	12	651	904	608	1,286	1,795	933	2,162
保険料等収入	352	1,274	1,561	1,260	2,081	2,407	1,340	2,457
うち変額個人年金	12	663	1,008	772	1,642	2,024	1,037	2,182
解約失効高 <sup>*1</sup>	7,229	6,062	5,187	4,251	4,186	2,427	1,655	1,353
解約失効率(%)	17.05%	16.75%	15.65%	13.56%	14.37%	9.11%	6.56%	5.98%
基礎利益	27	▲ 32	▲ 31	▲ 67	▲ 70	▲ 64	▲ 181	▲ 408
総資産	5,986	6,136	6,822	7,272	9,341	10,784	10,489	11,711

\*1個人保険、個人年金保険の合計

\*2 T&Dフィナンシャル生命は、更生特例法に基づき2001年4月1日から2001年9月30日までを事業年度としているため、2002年3月期は、組織変更後の2001年10月1日から2002年3月31日までを事業年度として決算手続きを行っています

## ・主要業績の推移:T & Dフィナンシャル生命

**本資料への問い合わせ先**

**T&Dホールディングス  
経営企画部 IRグループ  
電話:03 (3434) 9142**

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。

・お問い合わせ先